

第5学年〇組 道徳学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

- 1 主題名 男女の協力 高学年2－(3) 信頼・友情
資料名 「音楽会」 (光村図書)

2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、素直で明るく、集会を開いてはみんなで遊んでいる。班構成も男女混合の班を作って互いに協力することが大切だと思っている。しかし、係活動や当番活動は同性同士で偏ることがあり、活動をめぐって男女間のトラブルもある。また、今まで何とも思わずに男女で活動していたものが、妙にぎくしゃくしたり、自分の思いとは違う行動をとったりして反感を買うこともある。このように、思っていることと実際の行動が異なる場面が多く見られるようになってきている。

そこで、異性を意識してくるこの時期に、本主題を取り上げ、お互いの違いを理解した上で認め合い・助け合う心情を育てることは意義深いと考える。

- 本主題は、「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う」ことを主なねらいとしている。

協力とは、同性異性にかかわらず、互いを認め合い、信頼し合う中で育まれる。しかし、この時期の児童は、異性に対する関心が強まり、これまでとは異なった感情を抱くようになる。このことは自然の成長の姿である。そこで、異性に対しても、信頼を基にして正しい理解と友情を育て、協力して助け合おうとする心情を育てることは大変意義深いと考える。

- 本資料は、小学校最後の音楽会へ向けての練習をしていく話であり、「剣の舞」の練習の過程で男女を問わず一緒に力を合わせてやっという資料である。

本時指導にあたっては、春男の気持ちに視点をあて、春男の焦燥感や相手をうらやましく思う気持ちがからかいになってしまう言動を共感的にとらえさせ、幸子の「よかったら、一緒に練習しない？」と言われた時の春男の気持ちを考えさせたい。

導入では、価値への方向付けを図るために、既習のリコーダーの曲をみんなで演奏する。演奏するという活動を通してみんなで協力することの楽しさ、難しさを実感させるようにする。

展開1では、言葉のカードや挿絵を用いて資料の概要を視覚的につかませる。そして、春男の心情に共感させるために、役割演技やハート図を用いて考えさせる。まず、この曲が大好きであった春男の気持ちが、学校を休んだことによってなんとなく練習に行く気になれなくなった気持ちを役割演技によって考えさせ、共感した春男の気持ちをハート図で表現させる。次に、幸子から「一緒に練習しない？」と言われた時の春男の気持ちの変化をとらえさせるために、ハート図を使って考えさせるとともに、道徳ノートに書き込ませて話し合う。話し合いでは、机間指導をもとに、「自信のなさ」～「からかって悪かったという反省」～「一緒にやろうという男女協力」へと価値が深まるよう意図的指名を行う。展開2では、価値への一般化を図るためにこれまでの生活を振り返り、男子と女子が協力できたことを話し合わせる。終末では、「心のノート」を読み、自分たちの体験につなげて考えることで、ねらいとする道徳的価値に対する意識の継続を図る。

3 本時のねらい

男女を問わず、信頼し合って友情を育てようとする心情を育てる。

- 4 本時 平成21年11月25日(水)木曜日 第6校時 第5学年〇組教室において

- 5 準備 資料「音楽会」 ハート図、道徳ノート、鑑賞曲「剣の舞」、言葉のカード

6 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援
導 入	<p>1 音楽の時間に学習した「モルダウの流れ」をリコーダーで演奏し協力することについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ みんなで演奏すると楽しい。 ○ 苦手だな。 <p>めあて</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">男女で力を合わせる心について考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 価値への方向付けを図るために、リコーダーを演奏し、みんなで協力する楽しさ、難しさを実感させる。
展 開 1	<p>2 資料「音楽会」を読んで、春男の気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 演奏が決まった時の春男の気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ わくわくする。 ○ がんばろう。 <p>(2) 休み明けの春男の気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ わからなくなってしまった。 ○ ついていけない。 ○ 練習したくない。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ハート 図</p> <p>(3) 幸子をからかっている時の春男の気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 得意な人はいいよなあ。 ○ うらやましいな。 ○ 休んだら余計にわけがわからなくなってしまった。 <p>(4) 「一緒に練習しよう」と言われた時の春男の気持ちを話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">幸子に「よかったら一緒に練習しない？」と言われた時の春男はどんな気持ちでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ そう言われても自信がないなあ。 ○ そう言われてもやる気が出ないなあ。 ○ からかかってしまって悪かったなあ。 ○ 幸子さんが優しく言ってくれているのだからぼくも一緒にやってみよう。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ハート図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の範読を通して資料の概要をつかませる。 ○ 範読後に「剣の舞」を聴き、難曲であることをつかませる。 ○ 休み明けの春男の気持ちについて共感的に理解させるために役割演技を取り入れ、ハート図にその時の気持ちを書かせる。 ○ 「どうして、そのような色のバランスになったのか」を問うことで、自分の考えを発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「また一緒に練習しない？」と言われた春男の気持ちに共感させるために、ハート図を取り入れる。 ○ 机間指導を行い、ハート図が(2)から変化している子に発表させ、ねらいとする価値に迫らせる。 <p>(自信がない→反省→男女の協力)</p>
展 開	<p>3 自分の生活を振り返り、男女で協力できたときのことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然教室 ○ 委員会活動 ○ 調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の経験を想起させるために、カードを提示したり、数人発表させたりする。 ○ 価値への一般化を図るために道徳ノートに書かせ、自分の生活を振り返らせる。
終 末	<p>4 「心のノート」を読んで、今後の生活を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「心のノート」p. 47を読み男女で協力しようとする意識の継続化を図る。